



平成30年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年8月13日

上場会社名 メドピア株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6095 URL <http://medpeer.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石見 陽
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長 (氏名) 平林 利夫 (TEL) 03-4405-4905
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年9月期第3四半期の連結業績 (平成29年10月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年9月期第3四半期	1,604	49.5	294	—	305	—	167	—
29年9月期第3四半期	1,073	—	15	—	4	—	△39	—

(注) 包括利益 30年9月期第3四半期 167百万円(—%) 29年9月期第3四半期 △39百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年9月期第3四半期	18.71	18.38
29年9月期第3四半期	△4.60	—

(注) 当社は、平成29年9月期第1四半期から四半期連結財務諸表を作成しているため、平成29年9月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年9月期第3四半期	2,425	1,724	65.9
29年9月期	1,611	825	50.5

(参考) 自己資本 30年9月期第3四半期 1,597百万円 29年9月期 813百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年9月期	—	0.00	—	—	—
30年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年9月期の連結業績予想 (平成29年10月1日～平成30年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	2,245	44.0	380	361.5	380	475.8	220	—
								24.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料 7 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計上の見積りの変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	30年9月期3Q	9,185,050株	29年9月期	8,734,450株
② 期末自己株式数	30年9月期3Q	99株	29年9月期	—株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	30年9月期3Q	8,944,043株	29年9月期3Q	8,673,506株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により、予想した数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる過程及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計上の見積りの変更)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当社が属する医療・健康産業においては、団塊の世代が2025年頃までに後期高齢者に達する事により社会保障費の急増が懸念される、いわゆる2025年問題を背景に、健康寿命を延ばすこと及び社会保障費の増加に歯止めをかけることが喫緊の課題として認識されております。また、日本政府も『予防・健康管理』と『自立支援』に軸足を置いた新しい医療・介護システムを2020年までに本格稼働させることとしております。

このような環境の中、当社グループは、ミッションである「Supporting Doctors, Helping Patients. (医師を支援すること。そして患者を救うこと。)」を実現すべく、MedPeerサイトを通じた医師への情報提供のみならず、予防・健康管理を含めたヘルスケア領域全般を事業領域として拡大させるとともに、各事業の収益基盤の強化に注力してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高1,604,838千円（前年同四半期比531,279千円増）、営業利益294,275千円（同278,423千円増）、経常利益305,795千円（同301,350千円増）、親会社株主に帰属する四半期純利益167,345千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失39,897千円）となりました。

セグメント別業績は次のとおりであります。

①ドクタープラットフォーム事業

ドクタープラットフォーム事業では、MedPeerのドクタープラットフォームを基盤として医師や医療現場を支援するサービスを展開しております。

当第3四半期連結累計期間において、10万人超の医師会員が利用するMedPeer上のコンテンツを充実させることにより、医師会員の活性度を向上する施策を展開してまいりました。さらに、Web講演会などの新商品の拡販、新規取引先企業の拡充及び製薬企業に対するマーケティング支援関連サービスの強化等により収益拡大に努めてまいりました。

これらの結果、売上高は1,327,808千円（同52.9%増）、セグメント利益は462,549千円（同138.0%増）となりました。

②ヘルスケアソリューション事業

ヘルスケアソリューション事業では、健康増進・予防などのコンシューマー向けヘルスケア支援を展開しております。

当第3四半期連結累計期間において、子会社の株式会社Mediplatが運営するオンライン健康相談サービス「first call」において法人顧客獲得に注力するとともに、株式会社フィッツプラスが展開する特定保健指導事業、並びに、パーソナルダイエットサービス「Diet Plus」の各事業の収益基盤の強化に注力してまいりました。

これらの結果、売上高は277,030千円（同34.7%増）、セグメント損失59,324千円（前年同四半期はセグメント損失99,146千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて814,715千円増加し、2,425,824千円となりました。これは現金及び預金765,694千円と売掛金47,010千円の増加を主要因とするものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて83,963千円減少し、701,755千円となりました。これは未払金42,214千円と長期借入金56,104千円の減少を主要因とするものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて898,678千円増加し、1,724,068千円となりました。これは第三者割当増資による資本金及び資本剰余金の増加351,941千円、子会社における第三者割当増資による資本剰余金及び非支配株主持分の増加350,000千円、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加167,345千円を主要因とするものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の連結業績予想につきましては、業績の進捗状況や今後の経済状況を踏まえ、2017年11月6日に公表した予想を上回る見込みとなりましたので、これを修正いたしました。

詳細につきましては、本日(2018年8月13日)公表いたしました「通期連結業績予想に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	946,285	1,711,980
受取手形及び売掛金	333,188	380,198
その他	74,173	71,960
流動資産合計	1,353,647	2,164,139
固定資産		
有形固定資産	41,598	40,999
無形固定資産		
のれん	82,166	56,666
その他	44,429	41,104
無形固定資産合計	126,596	97,771
投資その他の資産	89,266	122,914
固定資産合計	257,461	261,685
資産合計	1,611,108	2,425,824
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,127	5,190
短期借入金	60,000	60,000
1年内返済予定の長期借入金	80,260	76,169
賞与引当金	18,914	21,740
ポイント引当金	41,062	48,003
未払金	120,629	78,415
未払法人税等	77,401	83,532
その他	129,921	153,400
流動負債合計	534,315	526,452
固定負債		
長期借入金	230,690	174,586
資産除去債務	17,841	717
その他	2,871	—
固定負債合計	251,403	175,303
負債合計	785,718	701,755
純資産の部		
株主資本		
資本金	510,393	701,213
資本剰余金	492,318	918,259
利益剰余金	△189,218	△21,873
自己株式	—	△145
株主資本合計	813,493	1,597,454
新株予約権	11,896	11,734
非支配株主持分	—	114,879
純資産合計	825,389	1,724,068
負債純資産合計	1,611,108	2,425,824

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年6月30日)
売上高	1,073,558	1,604,838
売上原価	272,831	420,397
売上総利益	800,727	1,184,440
販売費及び一般管理費	784,875	890,165
営業利益	15,851	294,275
営業外収益		
受取利息	4	4
為替差益	—	100
受取補償金	1,836	—
投資有価証券売却益	—	26,428
その他	836	1,142
営業外収益合計	2,676	27,675
営業外費用		
支払利息	1,932	1,734
持分法による投資損失	11,555	8,858
為替差損	428	—
貸倒引当金繰入額	—	572
株式交付費	—	4,988
その他	166	—
営業外費用合計	14,083	16,154
経常利益	4,444	305,795
特別損失		
オフィス統合費用	—	30,420
特別損失合計	—	30,420
税金等調整前四半期純利益	4,444	275,375
法人税、住民税及び事業税	41,293	113,417
法人税等調整額	3,048	△5,387
法人税等合計	44,342	108,030
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△39,897	167,345
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△39,897	167,345

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△39,897	167,345
四半期包括利益	△39,897	167,345
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△39,897	167,345

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成30年4月2日付で、スギホールディングス株式会社から第三者割当増資の払込みを受けました。また、当社の連結子会社である株式会社Mediplatは、平成30年4月2日付で、株式会社スギ薬局から第三者割当増資の払込みを受けました。これらの結果、当第3四半期連結累計期間において、資本金が175,970千円、資本剰余金が411,091千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において、資本金が701,213千円、資本剰余金が918,259千円となっております。

(会計上の見積りの変更)

(資産除去債務の見積りの変更)

第1四半期連結会計期間において、平成30年3月に本社を移転することを決定いたしました。これにより、不動産賃貸借契約に伴う原状回復義務として計上していた資産除去債務について、償却に係る合理的な期間を短縮しております。また、移転に伴い利用不能となる本社の「建物」、「工具、器具及び備品」について、耐用年数を移転までの期間に見直し、変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は26,630千円減少しております。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 平成28年10月1日 至 平成29年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額
	ドクタープラットフォーム事業	ヘルスケアソリューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	868,667	204,890	1,073,558	—	1,073,558
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	1,003	1,003	△1,003	—
計	868,667	205,894	1,074,562	△1,003	1,073,558
セグメント利益又は損失(△)	194,330	△99,146	95,184	△79,332	15,851

(注) 1 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去1,003千円、各報告セグメントに配分していない全社費用79,332千円が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成29年10月1日 至 平成30年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額
	ドクタープラットフォーム事業	ヘルスケアソリューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,327,808	277,030	1,604,838	—	1,604,838
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	279	279	△279	—
計	1,327,808	277,309	1,605,117	△279	1,604,838
セグメント利益又は損失(△)	462,549	△59,324	403,225	△108,949	294,275

(注) 1 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去3,890千円、各報告セグメントに配分していない全社費用112,839千円が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。